

科目	電気磁気学III (Electromagnetics III)		
担当教員	森田 二郎 教授		
対象学年等	電気工学科・5年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A2(100%)		
授業の概要と方針	3年,4年で履修した電気磁気学IおよびIIに関して,最初の4週で総復習を行う.その後は電気主任技術者の理論分野での電磁気学の問題,大学編入試験の電磁気学の問題,第2種大学院入試問題での電気磁気学の問題の解説を毎回3問程度行う.問題の解説と演習問題を解くことで,電界,電束密度,磁界,磁束密度,電流,電磁波,静電容量,インダクタンス等の物理量と電気磁気学現象との関わりを完全なものとして理解する.		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	[A2]電磁気学全分野の法則について理解できること.		ガウスの法則,磁界に関するガウスの法則,変位電流も含めたアンペアの法則,ファラデーの法則などの積分形を微分形に変形できるかどうかを中間試験の設問で確認する.
2	[A2]電気主任技術者試験理論分野での電磁気問題が理解できる		過去10年の電気主任技術者試験理論分野での電磁気問題に関して,類似問題を作成し,中間試験で評価する.
3	[A2]大学編入試験問題での電気磁気学問題が理解できる		様々な大学での公表されている編入試験問題での電磁気学問題に関して,類似問題を作成し,中間試験および定期試験で評価する.
4	[A2]大学院入試問題での電気磁気学問題が理解できる		様々な大学院で公表されている大学院入試問題での電磁気学問題に関して,類似問題を作成し,中間試験および定期試験で評価する.
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は,試験85% レポート15% として評価する.		
テキスト	「電磁気学」:宇野亨,白井宏共著(コロナ社)		
参考書	「電気磁気学」:安達三郎,大貫繁雄共著(森北出版) 「電磁気学」:卯本重郎著(昭晃堂) 「電磁気学」:沢新之輔,小川英一,小野和雄著(朝倉書店) 「電磁気学」:多田泰芳,柴田尚志著(コロナ社)		
関連科目	電気磁気学I,電気磁気学II,電気材料		
履修上の注意事項	3年4年:電気磁気学IおよびIIの継続科目,5年:電気材料の分極問題の時に電気磁気学の知識が必須.		

授業計画(電気磁気学III)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	第3学年で習った電磁気学の現象論(1)	第3学年で習った電磁気学の現象論の復習の講義を行う。
2	第3学年で習った電磁気学の現象論(2)	前回に引き続き,第3学年で習った電磁気学の現象論の復習の講義を行う。
3	第4学年で習った電磁気学の現象論(1)	第4学年で習った電磁気学の現象論の復習の講義を行う。
4	第4学年で習った電磁気学の現象論(2)	前週に引き続き,第4学年で習った電磁気学の現象論の復習の講義を行う。
5	電気主任技術者試験問題(1)	第3種電気主任技術者理論分野での電気磁気学の問題の解説を行う。
6	電気主任技術者試験問題(2)	前回に引き続き,第3種電気主任技術者理論分野での電気磁気学の問題の解説を行う。
7	電気主任技術者試験問題(3)	前回に引き続き,第3種電気主任技術者理論分野での電気磁気学の問題の解説を行う。
8	中間試験	中間試験
9	中間試験解説	中間試験の解説を行う。
10	電気主任技術者試験問題(4)	前回に引き続き,第2種電気主任技術者理論分野での電気磁気学の問題の解説を行う。
11	電気主任技術者試験問題(5)	前回に引き続き,第2種電気主任技術者理論分野での電気磁気学の問題の解説を行う。
12	編入試験問題(1)	公開されている大学編入試験問題での電磁気分野の問題の解説を行う。
13	編入試験問題(2)	前回に引き続き,公開されている大学編入試験問題での電磁気分野の問題の解説を行う。
14	大学院入試問題(1)	公開されている大学院入試問題での電気磁気分野の問題の解説を行う。
15	試験返却とその解説および復習.大学院入試問題(2)	試験返却とその解説および復習.前回に引き続き,公開されている大学院入試問題での電気磁気分野の問題の解説を行う。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	本科目の修得には,30時間の授業の受講と60時間の自己学習が必要である。 前期中間試験および前期定期試験を実施する。	